



希望記事

・近年、西欧化した食事などから罹患が増加している痛風について取り上げてほしい。

ビールがおいしい季節。とは言っても、痛風の方にとってはビールに含まれるプリン体は摂取制限したいもの。飲むべきか、飲まざるべきか、悩ましい季節なのかもしれません。掲載について一度検討してみたいと思います。

・少子高齢社会を迎え、社会保障費の伸びが目立っていますが、医療費や介護保険給付費等の増加を抑える様々な取り組みをしている自治体があることと思います。その中でも先進的な、あるいは効果の確認できるような事例の紹介を見たいです。

読者の皆様からの情報提供をお待ちしています。

・社会は、押し並べて「エコ」の時代。私たちが生きている社会の消費生活の本質的な点検確認が必要ではないでしょうか。3・11以降の動向を考えると、電力の大量消費しかり、消費経済そのものが大量消費に誘導されているように感じます。消費に対する意識についても「ほしいもの」から「必要なもの」への発想の転換などを示唆するような記事是非取り上げていただきたいものです。

全く同感です。これまでの大量生産、大量消費社会をいよいよ見直す時期にきているのでしょう。エコと経済成長の両立は難しいと思いますが、持続可能な社会を目指した取り組みが急がれますね。次号のCoverageでは幸福度指数について取り上げる予定ですので、ご要望の内容を含められないか検討してみます。

・以前、夫婦のコミュニケーションに関する記事があり、楽しく読ませてくださいました。続編を企画していただけるとうれしいです。

今号のFamilyでは黒川伊保子さんによる「夫婦の相性」を掲載しています。こちらをぜひご覧ください。

・公務員が、地域（市・県等大きな意味での地域）に溶け込み、元気を発する方法がなかなか見つかりません。公務員として、業務の上で…となってしまうことが、悩ましい…。

・いろんな生き方を実例として見せていただくのもいいのですが、現役世代の記事も参考になります。人員削減と公務員バッシングに耐えながら、日々勤務する私たちにも苦労や喜びがあるということが実感できるような…。

・サラリーマン（公務員）であれば、自分のポストの位置は「評価の結果」として誰でも気になることである。同期内での比較から始まって、様々な「比較」に頭を悩ます。結果によっては、長年「失意」状態が続く場合もある。精神衛生まで含めて、このテーマに正面から向き合った記事我希望する。

・定年を数年後に控え、まだまだ定年後の姿が描き切れていません。昔より仕事に対する時間が多くなり、ゆとり時間が減って、将来を描く時間がとれなくなっていることが大きな要因になっているかも知れません。定員管理以後、精神に伴う休職、これに伴い残された職員の加重感が新たな休職者を生んでいるように思う。職場環境改善のための提案を取り上げてもらえればと思います。

どの地方自治体においても、以前に比べ、職場環境は大きく変化していると思います。年々厳しさを増す中で、いかに仕事に取り組み、自らのライフプランを描いていくか。本誌の記事がそのヒントになれば幸いです。

・改正相続税による税務対策と遺産相続について

相続税の改正は現在見送られています。遺産相続については掲載できないかどうか、検討してみたいと思います。

・ありきたりの定年後（趣味、起業、ボランティア活動など）ではない、常識を覆すようなキャリアデザインとその実践（者）を紹介して欲しい。例えば、一般事務職で定年後、庭師になった。あるいは、俳優になった、作家になった etc。

当協会が平成23年にライフプラン普及啓発映像として制作したDVD『あなたもできる「生きがいづくり」―自分時間・家族・仕事―』では、公務員を退職後、アマチュア落語家、居酒屋経営、児童養護施設運営、会社経営、ルーアー製作などの職種でご活躍されている方をご紹介します。このDVDをご覧になりたい場合は、当協会のホームページ「福利厚生担当の方へ」から入っていただき、「貸出ビデオ・DVD一覧」でお申し込みください。

・地震等災害対策で苦勞されている自治体職員の方々、ボランティアに参加されている現職、OBの方々がたくさんおられると思います。それぞれの活躍はこれまでも本誌に紹介されていますが、それぞれの地域の皆さんとのネットワークや交流、ひいてはお互い協力できるような（たとえば、具体的に支援を依頼できるような）コーナーや記事があれば良いと思います。

本誌上で実現するのは難しいのが現状です。ただし、当協会ではシニア災害ボランティアシンポジウム等事業を行っています。このシンポジウムが、全国的なネットワーク構築の一助となれば幸いです。

その他ご意見

・気がつけば自分自身も60歳まで数年となり、いざとなると退職後さあ何をとを考えてしまいます。「私のネクストステージ」は最後の一言にその人なりの考えがあり、とても参考になりました。今後も継続していただきたいコーナーです。

私のネクストステージでは、今後もいろんな方の定年退職後のライフスタイルを取り上げていく予定です。ご自身の退職後のライフプランを考えられる際、ご参考にしていただければ幸いです。

・Family「私、みんなから嫌われてるのかな。って言われたら？」の記事とても参考になりました。私の子どもはまだそれほどの年齢にはないですが、これからのこととして考えることができました。ぜひこれからも継続をお願いします。

当記事は今どきの子ども事情や子どもの気持ちがかかる記事で、お子さんがいらつしやらない方にとっても、なるほどと思える部分があったのではないのでしょうか。

ファミリーのコーナーでは年1回は子育てに関する記事を掲載していく予定です。次回もお楽しみに。

・児童相談所の記事を取り上げていただきありがとうございます。リクエストした内容が本当に記事になると、通信員冥利に尽きます。これからもよろしく願っています。

ご希望に添えないことも多いですが、可能な限りお応えしていきたいと思えます。今後ともよろしく願っています。

・東京農業大学小泉先生の講演があると紹介されましたが、先生には長野県飯田市にもかわりをもっていただいています。郷土食・五平餅に味噌を使っていることから、醗酵食品の関係でお越しいただいたりしています。当市では現在、五平餅のスタンプラリー実施中です。機会があれば講演の概要を紹介いただければと思います。

5月18日の講演会には多くの方にご参加いただきました。小泉武夫先生の講演抄録は本誌70ページに掲載していますので、ご一読くだされば幸いです。

・希望していたシリーズ「ECONOMY」が始まり、興味を持って読みました。ポイントを押さえ、大変分かりやすく記述、説明されている点に好感が持てました。今後も期待大です。

今年度の「ECONOMY」は2本とも年間シリーズで掲載します。どうぞ最後までご覧ください。

・「オジサンのための食ライフ見直し講座」は、おじさんになった自分にピッタリとあてはまり恐ろしくなった。中でも締めめのラーメンは、おじさんになった体は正直で食べられないかなと思う反面、若いときの元気な自分を懐かしんで食べてみようかと無理をしてみよう。高橋先生の「50点でもいいから長く続けられることを選ぼう」を胸に、健康のための取り組みを実践したい。

成果がありましたら、ぜひご一報ください。

・地方公務員に関して、庁外のことからわからないため、とても参考になります。

今号の「Career」を執筆いただいた大阪府職員・寺本伸市さんの記事にあつたように「同じ自治体でも規模や風土、沿革等様々な要因によって大き

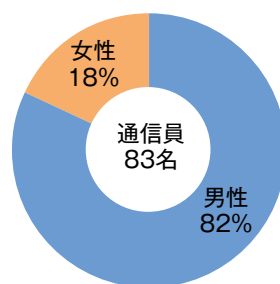
く異なる」のでしょうね。本誌が庁外を知る情報源の一つとして、少しでもお役に立てれば幸いです。

・記事内容がどんどんグレードアップしていると思います。

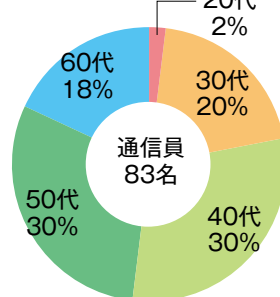
今後も皆さんのお役に立つような記事をお届けしていきたいと思ひます。ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

平成24年度通信員の状況

◎男女別構成比



◎年代別構成比



109号(2012年4月号)通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をしていただいています。ここでは109号(2012年4月号)のうち、「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事をベスト3までご紹介します。

●1位…Health

「男性管理栄養士によるオジサンのための食ライフ見直し講座」高橋大悟

●2位…Economy

「実践！役立つライフプランづくり 第1回 ライフプランは基礎が大事」井戸美枝

●3位…私のネクストステージ

—退職者への質問状 Vol.5
「趣味が高じて定年後に開業。何も無いところに新しい足跡をつけていく楽しみ」高橋忠夫